

●基本情報

事業名	コミュニティセンター管理事業			評価番号	5-1-2-1	
担当課	生涯学習課	係	生涯学習センター係	会計	【01】一般会計	
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり		予算科目	款	【0109】教育費
	基本施策	【1】町民参加体制の充実			項	【010904】社会教育費
	施策	【2】交流活動の充実			目	【01090409】コミュニティセンター費
	主な取組	①既存施設の有効的な活用			事業	コミュニティセンター管理事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり事業終了年度：令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input checked="" type="checkbox"/> 委託 ( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 町単独 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他( )		
事業概要	布川地区コミュニティセンター維持管理をシルバー人材センターへ委託し、効率的な運営を図ります。		

●実施 ~DO~

事業業績	布川地区コミュニティセンター維持管理をシルバー人材センターへ委託し、効率的な運営を図り、設備等の保守・修繕等の維持管理を行いました。				
事業費	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	
	財源内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	4,900,000円
		その他	円	円	円
		一般財源	8,014,860円	7,233,948円	7,399,394円
事業費計	8,014,860円	7,233,948円	12,299,394円		

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 地域住民のコミュニティ活動の場として、また地域交流の拠点となるよう、施設の整備及び効率的な運営に努め貢献しているため。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 地域住民のコミュニティ活動の場として、また地域交流の拠点となるよう民間業者に維持管理を委託し、効率的な運営に努めており妥当であるため。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 地域住民のコミュニティ活動の場として、また地域交流の拠点となるよう、民間業者に維持管理を委託し、施設の整備及び効率的な運営を行っており、余地はないため。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 事業の内容や成果から、廃止・休止はできないため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由 事業内容から類似事業がないためため。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 事業改善、契約方法の変更等を見直しができるれば、成果を下げずにコスト削減できる余地があるため。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由 利用団体等へ利用料金について受益者負担を求めており、適正であるため。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大） <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 地域住民のコミュニティ活動の場として、また地域交流の拠点となるよう、民間事業者へ維持管理を委託し、施設の整備及び効率的な運営を行っていきたく思います。

令和2年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和元年度)

●基本情報

事業名	出会い創出事業			評価番号	5-1-2-2	
担当課	企画課	係	シティプロモーション係	会計	【01】一般会計	
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり		予算科目	款	【0102】総務費
	基本施策	【1】町民参加体制の充実			項	【010201】総務管理費
	施策	【2】交流活動の充実			目	【01020106】企画費
	主な取組	②交流の場と機会の提供			事業	出会い創出事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり事業終了年度：令和 年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し <input type="radio"/> 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 ( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 町単独 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他( )		
事業概要	独身男女の交流及び結婚意識の高揚を図るため、婚活パーティーなど、出会いの場を提供するイベントを実施します。		

●実施 ~DO~

事業実績	開催日	令和元年12月14日(土)			
	場所	第一部 縁結びボウリング「ハローズガーデン」(イトーヨーカドー竜ヶ崎サプラ2階) 第二部 カップリングパーティー「しゃりま」			
事業費	参加者	男性12名 女性7名(他、女性1名当日キャンセル)			
	参加対象	男性、女性ともに、おおむね25歳から39歳までの独身者 (ただし、学生は除く。男性は、利根町在住か在勤であること。)			
	カップル成立数	3組			
事業費	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	
	財源内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	115,277 円	143,626 円	165,062 円
事業費計	115,277 円	143,626 円	165,062 円		

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	<input type="radio"/> 貢献している <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 婚活パーティーを開催し、毎回、数組のカップルが成立しておりますが、成婚し町に移住するまでには至らず、結婚意識の醸成に繋がれているとは言い難く、今後、事業の内容について見直しを必要があると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	<input type="radio"/> 妥当である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 婚活パーティーの開催に限定せず、既存イベントをきっかけとする独身男女の出会いの場の創出や、出会い創出事業を実施する知識やノウハウのある団体を募集する等、新たな手法についても検討し、晩婚化、未婚化の解消を図ることも必要だと考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 参加者の意見を参考に、開催場所や年齢要件、内容等について見直しを行うと共に、婚活支援関連のWebサイトの活用やプレスリリースを実施し周知活動の拡大を図ることで、成果を向上させることができると考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 独身男女の交流及び結婚意識の醸成、将来的な町内への移住・定住人口の増加を図ることから、事業の継続は必要と考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input type="radio"/> 類似事業はない 参加者の意見を参考に、開催場所や年齢要件、内容等について見直しを行い、独身男女が気軽に参加しやすいパーティーを開催しておりますが、例年、応募が少なく参加者集めに苦慮しています。婚活パーティーの開催に限定せず、既存のイベントをきっかけとする独身男女の出会いの場の創出など新たな手法の検討も必要だと考えます。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 独身男女に、気軽に参加していただくためにも、現状の事業費が適正であると考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 婚活パーティーの参加費用については、開催する内容によって変動するため、計画した内容に合わせ、事業費を計上していきたいと考えております。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 ( <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 ) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 婚活パーティーは、毎回趣向を変えて開催していますが、例年、応募が少なく参加者集めに苦慮しています。婚活パーティーの開催については、内容や参加費など運用的な課題もありますが、独身男女の結婚に対する意識や意欲の醸成を図る取組が必要であり、出会い創出事業を実施する法人や団体を募集する等、新たな手法についても検討し、晩婚化、未婚化の解消を図ることも必要だと考えます。